

# 民間に安全運転指導

## ドライブレコーダー データを活用 全額出資で子会社

### オリコンサル

オリエンタルコンサルタンツは、車両関連ビジネスに本格参入する。多数の社有車を保有する民間企業を対象に、運転状況のモニタリングや運転指導などのコンサルティングサービスを提供することにも、車両管理業務のアウトソーシングを受託する事業も展開。ドライブレコーダーから得た情報を分析して、交通事故の削減につながる提案を自治体に行う取り組みを進める。事業に本格参入するため全額出資子会社を1日付で設立した。



新ビジネスの内容や狙いなどを説明する(左から)野崎、大西、美濃部の各社長=17日午前、東京・西新宿の本社ビルで

同ビジネスへの参入は、減・安全運転分析支援事業(シジョン) (福岡市博多区、美濃部直樹社長) がこれまで実施してきた。今後は両社が連携する形でビジネスを展開。相互補完の関係で車両管理業務と安全運転コンサルティ

ックの拡大を目指す。製薬や食品など営業車を多数保有している民間企業をターゲットにする。車両関連ビジネスは、民間分野だけでなく公共分野も対象になる。シャロックで得た位置情報や走行速度、時間、映像などのデータを解析し、地域ごとに交通事故の危険箇所を抽出。自治体な

どに効果的な事故対策を提案したり、対策効果を検証したりなどさまざまなサービスを、地域交通事故削減支援事業「ドクター・ワトソン」の名称で提供する。

公募型アプロポザルや総合評価方式の技術提案などにこの内容を盛り込むことで、他社との差別化や競争力の向上につながる。既に北九州市と連携し運転データの活用に向けた社会実験を開始。1月から市の公用車に搭載したドライ

ブレコーダーで得られたデータの解析や利用検討などを行っている。新ビジネスへの参入と子会社の設立について、オリコンサルの野崎秀則社長は「起業家精神を持った人材の育成と、グループ内連携によるサービスの総合力が狙い」と説明。国内で事業基盤を固めた上で、海外展開も視野に入れる。車両の運転データを地域活性化や観光振興などに役立てる取り組みも検討するとしている。

同ビジネスへの参入は、減・安全運転分析支援事業(シジョン) (福岡市博多区、美濃部直樹社長) がこれまで実施してきた。今後は両社が連携する形でビジネスを展開。相互補完の関係で車両管理業務と安全運転コンサルティ

ックの拡大を目指す。製薬や食品など営業車を多数保有している民間企業をターゲットにする。車両関連ビジネスは、民間分野だけでなく公共分野も対象になる。シャロックで得た位置情報や走行速度、時間、映像などのデータを解析し、地域ごとに交通事故の危険箇所を抽出。自治体な

どに効果的な事故対策を提案したり、対策効果を検証したりなどさまざまなサービスを、地域交通事故削減支援事業「ドクター・ワトソン」の名称で提供する。

公募型アプロポザルや総合評価方式の技術提案などにこの内容を盛り込むことで、他社との差別化や競争力の向上につながる。既に北九州市と連携し運転データの活用に向けた社会実験を開始。1月から市の公用車に搭載したドライ

ブレコーダーで得られたデータの解析や利用検討などを行っている。

同ビジネスへの参入は、減・安全運転分析支援事業(シジョン) (福岡市博多区、美濃部直樹社長) がこれまで実施してきた。今後は両社が連携する形でビジネスを展開。相互補完の関係で車両管理業務と安全運転コンサルティ

ックの拡大を目指す。製薬や食品など営業車を多数保有している民間企業をターゲットにする。車両関連ビジネスは、民間分野だけでなく公共分野も対象になる。シャ

ロックで得た位置情報や走行速度、時間、映像などのデータを解析し、地域ごとに交通事故の危険箇所を抽出。自治体な

どに効果的な事故対策を提案したり、対策効果を検証したりなどさまざまなサービスを、地域交通事故削減支援事業「ドクター・ワトソン」の名称で提供する。

公募型アプロポザルや総合評価方式の技術提案などにこの内容を盛り込むことで、他社との差別化や競争力の向上につながる。既に北九州市と連携し運転データの活用に向けた社会実験を開始。1月から市の公用車に搭載したドライ

ブレコーダーで得られたデータの解析や利用検討などを行っている。

新ビジネスへの参入と子会社の設立について、オリコンサルの野崎秀則社長は「起業家精神を持った人材の育成と、グループ内連携によるサービスの総合力が狙い」と説明。国内で事業基盤を固めた上で、海外展開も視野に入れる。車両の運転データを地域活性化や観光振興などに役立てる取り組みも検討するとしている。

同ビジネスへの参入は、減・安全運転分析支援事業(シジョン) (福岡市博多区、美濃部直樹社長) がこれまで実施してきた。今後は両社が連携する形でビジネスを展開。相互補完の関係で車両管理業務と安全運転コンサルティ

ックの拡大を目指す。製薬や食品など営業車を多数保有している民間企業をターゲットにする。車両関連ビジネスは、民間分野だけでなく公共分野も対象になる。シャ

ロックで得た位置情報や走行速度、時間、映像などのデータを解析し、地域ごとに交通事故の危険箇所を抽出。自治体な

どに効果的な事故対策を提案したり、対策効果を検証したりなどさまざまなサービスを、地域交通事故削減支援事業「ドクター・ワトソン」の名称で提供する。

公募型アプロポザルや総合評価方式の技術提案などにこの内容を盛り込むことで、他社との差別化や競争力の向上につながる。既に北九州市と連携し運転データの活用に向けた社会実験を開始。1月から市の公用車に搭載したドライ

ブレコーダーで得られたデータの解析や利用検討などを行っている。

新ビジネスへの参入と子会社の設立について、オリコンサルの野崎秀則社長は「起業家精神を持った人材の育成と、グループ内連携によるサービスの総合力が狙い」と説明。国内で事業基盤を固めた上で、海外展開も視野に入れる。車両の運転データを地域活性化や観光振興などに役立てる取り組みも検討するとしている。

同ビジネスへの参入は、減・安全運転分析支援事業(シジョン) (福岡市博多区、美濃部直樹社長) がこれまで実施してきた。今後は両社が連携する形でビジネスを展開。相互補完の関係で車両管理業務と安全運転コンサルティ